

授業参観ご来校ありがとうございました。

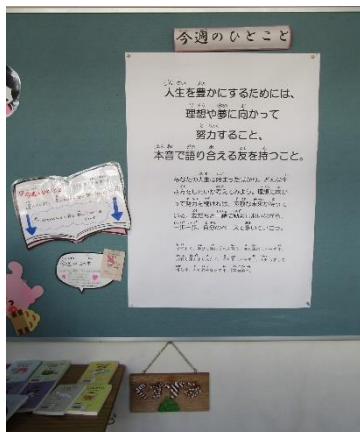
20日(月)は4, 5, 6年生の今年度最後の授業参観でした。4年生は、2分の1成人式、5年生は、国語「子ども未来科」で何をする、6年生は、国語「今、私は、ぼくは」という学習で、それぞれ発表をする学習となっていました。

それぞれの発表場面を見ると、4月の頃を思い出し、一人一人の成長ぶりを実感することができました。発表をするときに一番大切なのは、誰に向かってするのかという相手意識です。今回はそれぞれ学級の仲間だけでなく、保護者の皆様に伝えたいという思いがあったからこそ、普段の授業の中では、なかなか見られない自分の殻を破ってがんばろうとする姿が見られたのではないのでしょうか。

高学年の子どもたちには、ここでほっとするのではなく、これから卒業式、修了式に向かって、あとひと踏ん張りがんばってほしいと期待しています。保護者の皆様も子どもたちへのエールをお願いします。

○学校のホームページで詳しく紹介しています。

<http://www.city.sasebo.ed.jp/es-kusuzumi/>



保健体育委員会の取組

人権週間に「ふわふわことばツリー」に取り組みましたが、さらに、「やわらかな心」で楽しい楠栖小学校にするために、「心豊かに生きるための言葉集」から選んで、校長室前に掲示して、子どもたちが月曜日の朝放送で紹介しています。先週のひとことは、マイメロディの『論語』から「人生を豊かにするためには、…」という言葉を紹介しています。この本は、高学年の児童がおすすめしてくれた本です。さて今週は、…。お子さんに尋ねてみてください。

雄磨くんに会いに来ました。

先日「入試のため学校が休みだったので、来ました。」と高校2年生の女子生徒が2人、中庭にある雄磨くんのなかよしの木を訪ねてきました。懐かしい校舎の中を一緒に案内しながら、いろいろな思い出話をしてくれました。雄磨くんと会えなくなったことは、ご家族のみなさんはもちろんですが、やはり同級生の子どもたちにも大きな喪失感と悲しみを与えていたことを痛感しました。

そんな中でも、いよいよ自分の将来のことを考え前に進みだそうと頑張っている先輩2人から、よい機会だと思い6年生へメッセージをもらいました。ちょうど1年生の時の6年生だったそうです。身近な先輩の話だからこそ、伝わる思いもあったのではないかと感じました。子どもたちにとって卒業してから心よりどころとなる「ふるさと楠栖小学校」でありたいと思います。

「また来てくださいね。他の同級生にも伝えてね。雄磨君と一緒に待っています。」と伝えました。

